学校番号	３１８

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新政治経済」（実教出版）						
副教材等	「最新図説政経」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業を通じて、ニュース・話題の本質を読み取り、日常生活との関わりを考える。
・身近な話題を提供し、現代社会の諸問題について興味を持って考える姿勢を育む。
・現在の世界や日本の将来にわたる諸問題について自らの主張や考えを持つ。

2　学習の到達目標

・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて、探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する。諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。
・国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して現実社会に見られる複雑な課題を把握して説明する。身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。
・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a ：知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代社会の基本的問題と人間に関わることがらに関する様々な資料やメディアを通じて収集できる力を身につける。 ・現代社会の基本的問題と人間としての在り方、生き方とに関わる基本的な知識、問題解決に対する多様な意見を理解する力をつける。	・人間としてのあり方、生き方に対して多面的、多角的に考察して、社会の変化やさまざまな立場を判断する。その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現する。	・現代社会の基本的問題と人間としての在り方、生き方に関わる基本的な知識、問題解決に対する多様な意見を理解する力をつける。 ・現代社会に生きる人間としての在り方、生き方について自覚を深める。 ・社会的事象を総合的に考察しようという態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期・二学期	第1部　現代日本の政治・経済	第1編　現代日本の政治 ①民主政治と法 ②民主政治の基本原理 ③民主政治のしくみと課題 ④世界のおもな政治制度 ⑤日本国憲法の成立 ⑥日本国憲法の基本原理 ⑦自由に生きる権利(1) ⑧自由に生きる権利(2) ⑨平等に生きる権利 ⑩社会権と参政権・請求権 ⑪新しい人権 ⑫人権の広がりと公共の福祉 ⑬平和主義と自衛隊 ⑭日米安全保障体制の変化 ⑮21 世紀の平和主義 ⑯政治機構と国会 ⑰内閣と行政機能の拡大 ⑱公正な裁判の保障 ⑲地方自治と住民福祉 ⑳政党政治 ㉑選挙制度 ㉒世論と政治参加	a：政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b：民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c：国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ノート	振り返りシート

		第２編　現代日本の経済 ①経済活動の意義 ②経済社会の変容 経済主体と市場の働き 企業の役割 国民所得 経済成長と国民の福祉 金融の役割 日本銀行の役割 財政の役割と租税 日本の財政の課題 日本経済の成長と課題 中小企業と農業 消費者問題 公害防止と環境保全 労働問題と労働者の権利 こんにちの労働問題 社会保障の役割と課題	ａ：経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 ｂ：経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ｃ：国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ノート	振り返りシート

二学期・三学期	第2部　現代の国際政治・国際経済	第1編　現代の国際政治 ①国際社会と国際法 ②国際社会の変化 ③国際連合と国際協力 ④こんにちの国際政治 ⑤人種・民族問題 ⑦軍拡競争から軍縮へ ⑧日本の外交と国際社会での役割	a：国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海，領空を含む）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解している。貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b：国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c：国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題テスト	振り返りシート

		①貿易と国際収支 ②外国為替市場のしくみ ③第二次世界大戦後の国際経 ④国際経済の動向 ⑤新興国の台頭 ⑥経済のグローバル化と ICT でかわる世界経済 ⑦発展途上国の課題と展望 ⑧地球環境問題，資源エネルギー問題 ⑨経済協力と日本の役割	a：貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b：国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c：国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題テスト	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度